



# 中学野球で軟式野球を選ぶ メリット・デメリット



## ①軟式野球を選ぶメリット

☆軟式ボールは硬式ボールよりも軽くて柔らかい＝安全面で優れている。

- ・ デッドボールや打球、自打球などでボールが体に当たっても、大ケガになる危険性が低い（故障のリスクを抑えられる）。
- ・ 成長期の中学生（特に投手）にとって、体（特に肩、肘、腰）への負担が少ない。
- ・ より全力で野球を楽しめる。

☆体にかかる負担が少ない（重すぎない）道具で反復練習ができる。

- ・ 正しい型が身に付きやすい（定着しやすい）。
- ・ 体作りと同時に技術レベルを上げることも出来る。

☆軟式野球が出来る場所（＝球場、グラウンド、中学校など）を比較的、押さえやすい。

- ・ 遠征や宿泊を伴う移動が少ない。
- ・ 遠征費用があまり掛からない。
- ・ 選手も保護者も負担が少ない。
- ・ 移動中の事故の発生率を抑えられる。
- ・ 保護者の送迎があまり無い。
- ・ 時間をより有効に活用出来る。

≪CBCでは！≫グラウンドの確保を含むスケジュール調整はスタッフが行うため、保護者の皆様のご負担はありません！

☆金銭面での負担が少ない。

- ・ 購入すべき道具が少ない。
- ・ 遠征費や宿泊費があまり掛からない。
- ・ 道具一つひとつが硬式用よりも安い。
- ・ 大会参加費や審判代が高額にならない。

☆試合が出来るチームが身近に多い。

- ・ CBCと同じ軟式野球クラブチーム
- ・ 高校や大学の軟式野球部
- ・ 中学校の軟式野球部
- ・ 大人の軟式野球チーム

## ②軟式野球を選ぶデメリット

☆高校野球への移行が心配。

≪CBCでは！≫硬式野球体験練習を行っておりますので、硬式野球用のボールやバットに慣れることが出来ていき、高校野球への移行がスムーズになります！

## ③クラブチームを選ぶメリット

☆これまでの野球からスムーズに移行出来て、好スタートが切れる！

- ・ 軟式野球というスポーツ、クラブチームという形態、がこれまでのチームと同じ。
- ・ 道具も大きな違いが無いので、すぐに始めやすい。

☆色々な選手たちがチームメイトになる！

- ・ これまでのチームメイトだけでなく、これまで対戦してきた違うチームの選手たちや違う中学校の選手たちと同じチームで野球が出来る。

## ④中学生の時に軟式野球をしていた現役のプロ野球選手（敬称略）

甲斐野央、嘉弥真新也、近藤健介（福岡ソフトバンク）、岸孝之（東北楽天）、山岡泰輔（オリックス）、上沢直之（日本ハム）、石川歩（ロッテ）、小川泰弘、田口麗斗（ヤクルト）、菅野智之、丸佳浩（巨人）、山崎康晃、今永昇太（横浜）、大瀬良大地、會澤翼（広島）、大野雄大（中日）、千賀滉大（メッツ）、など  
※2019年の開幕投手を務めた日本人選手11人全員が中学軟式野球の出身だったことも話題になりました！